

教員の資質能力向上に係る特配（C T特配）活用推進事業の報告書

太田市立太田中学校

1 取組の概要

(1) C T特配教員の指名

本校では、教職経験16年目の教員をC T特配（持ち時数17時間）とし、校内研修主任を兼務させた。このことで、校内研修と教職員の資質能力向上研修（以下「スキルアップ研修」）の両方を関連付けて効果的に実施することをねらった。「スキルアップ研修」は、働き方改革の推進に伴い、30分と時間を決めて勤務時間の中で実施した。（別紙参照）

(2) 「スキルアップ研修」の概要

「スキルアップ研修」の内容は、以下のように大きく二つに分け、C T特配教員が各分掌の担当者と連携を図りながら計画・立案した。また、それぞれの研修の講師を各担当者に任せることで、講師を経験する中堅教員の資質向上にも役立つことをねらった。

①本校独自の取組に対する理解の促進と意識・意欲の向上を図る研修

- 本校の教育推進に当たっての基本理念に関わる研修（講師：教務主任）
- 本校独自の探求学習「創造未来学習」（総合）の指導に関わる研修
（講師：総合的な学習主任）
- 中高一貫校として6年間で進めるキャリア教育に関わる研修
（講師：キャリア教育主任）

②新指導要領の趣旨や今日的な教育課題等に関わる理解を深める研修

- 様々な要因で心に悩みを抱える生徒に対する教育相談の手法に関わる研修
（講師：教育相談主任、S C）
- いじめの法に基づいたいじめ理解といじめ対応に関わる研修
（講師：生徒指導主事、外部講師）
- 道徳と学級活動の基本的な授業作りに関わる研修
（講師：道徳主任、特活主任）
- 主体的・対話的で深い学びに関わる研修（国語科の授業を中心に）
（講師：国語主任、外部講師）

2 成果と課題

(1) 成果

- CT特配教員が、その役割と責任を理解し、校内研修はもとより、「スキルアップ研修」の計画・立案の中心として職務を遂行したため、年間を通じて校内研修と「スキルアップ研修」を有機的に結び付けた取組を実施できた。
- CT特配教員と各分掌の担当教員（中堅教員）が連携を図りながら研修内容を絞り込むと共に、中堅教員に講師を任せたことで、中堅教員の資質能力向上につなげることができた。
- 本校の教育理念や教育課程の特色の一つである探求学習（「創造未来学習」）の目指す方向性、中高6年間を通じて行うキャリア教育で育てたい資質・能力についての共通理解を全職員で図ることができた。
- 本校の課題である心に悩みを抱える生徒への対応の仕方、今日的な課題であるいじめ理解といじめ対応について、計画に基づき複数回実施したことで、これらの課題について共通理解を深めることができ、その後の組織的な取組につなげることができた。
- 教科となった道徳の授業作りや評価について、授業を見合うことも含めて全職員で意見交換したり、本校の課題の一つである話し合い活動の充実を図る目的で学級活動の進め方等について新指導要領をもとに確認したりしたことで、それぞれの授業作りに役立てることができた。

(2) 課題

- CT特配の配置の有無にかかわらず、校内研修と教員の「スキルアップ研修」を関連付けながら進める体制作りを進めていく必要がある。また、研修の計画・立案を研修主任だけでなく、他の中堅教員も参画させながら行うことで、今後とも中堅教員の資質向上を図っていきたい。
- 「スキルアップ研修」の研修内容決定に当たっては、教員の実態や新しい教育課題等を踏まえ、さらに教員の資質能力向上につながるものにしていきたい。
- 働き方改革推進という大きな流れの中にあって、限られた時間で効果的に教員の資質能力向上を図れる研修の在り方について、今後とも研究したい。